蒲郡文化

No.180

蒲郡市栄町3番30号
蒲郡市文化協会
TEL・FAX(0533)68-5509
URL http//www.city.gamagori.aichi.jp/kyoiku/shogai/bunka/
E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

創立40周年記念事業を終えて

蒲郡市文化協会会長　坂部　傑

平成22年11月3日、創立40周年記念行事は盛会裡に幕を閉じることが出来ました。これも内外からの多くの方々のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。創立40周年記念事業実行委員会の活動の経過を委員長さんにまとめて頂きました。

式典委員会

菊の残り香を、小春日の風が柔らかく運んできてくれる今日此の頃。文協四十周年記念式典を終えて、ほっとした心に温かくよみがえって来るものがあります。

式典委員会の初めの頃の会合では、それぞれの部会からの方達で違った分野で活動していて、お顔と名前が結びつきませんでした。記念誌や公演事業の進捗状況を聞きながら、焦りを感じたのも事実でしたが、回を追う毎に心のつながりが出来、ようやく気持ちが一つになりました。会場準備の頃には、他の人への思いやりも出来て参りました。

記念式典当日は、受付に始まり、文化祭のテープカット、記念式典、引き続いての公演と祝賀会等、すべてが終わる頃には、人と人との断つことの出来ない絆、離れ難い結びつきが出来ました。これこそ文化協会五十周年へ向けての歩みの第一歩と思い、皆様方の思いやりの心に感謝しつつこの稿を終えます。(小田　静生)

事業委員会

「琉球の宮廷芸能と尺八の宴」が記念事業に決定したとき、とても不安でした。それは出演者が多岐に亘り、また、開場が蒲郡市民会館の大ホールだったからです。入場料の検討では二転・三転し、スタート当初は盛り上がりに欠け、はたして開催できるのか、大変心配でした。

しかしチケットの販売に入った途端、「四十周年公演は、自分たちの手で成功させるんだ」という雰囲気に変わりました。そして、チケットは完売になり、公演の直前三日間は全員で準備に入り、役割別に一生懸命に動かれる姿は素晴らしかったです。本番当日は満員盛況の中、華麗な琉球と日本の伝統芸能が披露され、感銘のうちに幕を閉じました。まさに、蒲郡市文化協会の総力が結集された公演でした。「蒲郡市文化協会の動員力にビックリ。蒲郡市の文化水準が高いんだね」という声がありました。ご出演ならびに関係各位には大変お世話になりました。(西浦　稔)

記念誌編集委員会

平成21年7月23日初回の会議で記念誌は、A4版・横書き二段組・カラー化・各部会のあゆみは3ページ以内・文協への期待は各部会2名・全体で90ページ程度・三千五百部印刷で予算は二百万円以下という大綱が決まりました。その後検討を重ね、11月には原稿用紙配布、締め切りは22年1月末として動き出しました。皆様のご協力のお陰で原稿は予定通りに集まりました。手書き原稿はすべてパソコンに入力してデータ化し、3月には元原稿とプリントの照合を執筆者にお願いし、さらに業者の印刷の校正を重ね、9月には表紙デザインも決まり完成にこぎつけました。皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

10年後の記念誌のためには、文協のアーカイブズ(記録保管所)の充実が大切だと思いました。(鈴木　瑞夫)

こうして40周年を終えてみますと、課題も多く、会員数の減少、高齢化、発表会場の効率化、魅力ある企画、質の向上等々難問が山積しています。しかしながら、この節目を契機に文化活動のさらなる発展を目指したいと思います。会員の皆様方の積極的な御提言ご協力をお願いします。